

宮田の環境を守る会通信

私たちは、宮田村大久保区に民間事業者が計画している、放射性物質を含む廃棄物最終処分場の建設に断固反対します！

Vol.21

2019年2月15日



【活動報告】 12月7日 平成30年区長会へ 一年間の協力の御礼と活動報告

平成30年最後の区長会において、田中会長と松井事務局長が一年間の協力へのお礼と活動報告を行いました。

事業者の動きがなく活動が長期化する中、会の動きが全体に伝わっていないという反省から、できるだけ機会を作って各団体の皆さんに状況説明をしてゆきたいと思えます。



【活動報告】 12月18日 第22回小委員会を開催

各担当者の動きを共有したのち、建設反対署名、建設反対看板・のぼり旗、ホームページ、守る会通信、学習会、地下水河川水観測、県への陳情などについて、情報交換と議論を行いました。



【活動報告】 12月23日 市民集会「除染土はどこへ？」参加 －飯館村放射能エコロジー研究会ほか主催－



2018年12月23日に東京仕事センター地下講堂において、「除染土はどこへ？」というタイトルで環境省の“除染土の再利用・埋め立て処分方針”について考える市民集会が開催されました。

当会からは田中会長と川手委員及び松井事務局長が参加し、宮田の環境を守る会の活動報告を行いました。

発行：宮田の環境を守る会
会長：田中 一男(村議会)
miyadakankyo@gmail.com





【活動報告】 2019年1月22日役員会を開催 新役員体制を確認

◇最終処分場建設反対運動の現況について◇

宮田の環境を守る会会長 田中一男

宮田村大久保区に建設が計画されている、放射性物質を含む廃棄物の最終処分場の計画から早3年9か月が過ぎようとしています。この間、宮田村の村民をはじめ上伊那郡や長野県ひいては全国の皆様に反対運動に参加いただきまして本当にありがとうございました。おかげさまで反対署名も11万人にせまる署名が集まっております。

現在の状況ですが、業者は未だ処分場建設の申請を提出していませんが、昨年7月には計画地施設の周囲に仮囲いを設置すると一方的に通告してきました。塀はほぼ完成しています。ただ施設解体について当会としてはまだ合意に至っておりません。

現在、反対運動の一環として、地下水の動向調査を会員の協力のもと行っています。この反対運動は長期化すると考えられます。“絶対に処分場を建設させない”強い決意で、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いします。

【2019新役員体制】

- 会長 田中 一男（村議会）
- 会長代理 清水 正康（村議会）・小田切和美・木下 克美（以上区長会）
- 相談役 小田切敏明・保科 治男・松田 英俊・窪田 守男
- 事務局 松井 良近・西村 常雄・北沢 勤（以上区長会）
- 会 計 伊藤 幸一（区長会）・竹村 照美（いきねっと宮田・村議会）
- 監 事 天野 早人（村議会）・湯澤 好夫（区長会）

【当面の活動計画について】



- ※ 地下水観測（川手リーダー）
- ※ 看板・のぼり旗・パネル作り（城倉・清水・窪田リーダー）
- ※ 建設反対署名 12月末現在：109,584人分
- ※ 看板・のぼり旗 各団体へ新規設置・修繕など依頼
宮田駅前に新規設置を計画中・・・
- ※ 学習会・集会 講演会を企画中・・・
- ※ 地下水等観測 2月以降の当番表を作成し各団体へ

最新情報は「宮田の環境を守る会」のホームページをご検索、ご覧ください！